

ネーミングライツ・プロジェクト

自治体情報

人	□ 166,991人
標準財政規模	37,521,038千円
担当課	静岡県 磐田市 企画財政部企画調整課(財源確保プロジェクト事務局)
電話	0538-37-4805
ホームページ	http://www.city.iwata.shizuoka.jp
事業期間	平成20年度から
参考とした施策	横浜市等 ネーミングライツ事業
関係施策分類	

施策の概要

1 取り組みに至る背景

施設等の維持管理費については、その多くを市単独で賅っている。例えば、全国的にも評価の高い竜洋海洋公園オートキャンプ場については、年約900万円を、市道については、年約5億5000万円を費やしている。指定管理者制度の導入や施設の統廃合を含めた再編等の自助努力、様々な行財政改革により削減が図られているが、今後とも適切に維持管理し続けるには、今以上の大きな削減は期待できず、施設の老朽化や更新等を考慮すると増加傾向にあると推察され、より多くの財政出動が強いられる状況にある。

2 事業内容(目的・目標・方策)

施設等の維持管理費が財政を圧迫していく状況にあり、その財源を安定的に確保するため、施設の価値を明らかにすることで、資金を調達する手法であるネーミングライツについて検討し、導入を進めることとした。

平成20年7月に、行財政改革推進本部の補助機関である財源確保プロジェクト内に、ネーミングライツ検討部会を設け、横浜市等の先進地の事例を参考に、本市施設等におけるネーミングライツ導入の可否等について検討を重ねた。

同年11月には、行財政改革推進本部に「提案書」を提出し、推進する旨の回答を得たため、全国にも例の少ない市道について、ネーミングライツ導入を決めた。

平成21年2月より、『官民協働施策推進型ネーミングライツ』をテーマとして、市道2路線のネーミングライツ・パートナーとなる企業を募集した。5社からの応募があり、磐田市道ネーミングライツ・パートナー選定委員会において選定された2社と交渉を進めた結果、平成21年4月13日に、全国初となる市道のネーミングライツの契約を交わした。

3 施策の開始前に想定した事業効果

ネーミングライツについては、多くの自治体等において導入事例



磐田市では、(仮称)ららぽーと磐田周辺の市道富里大久保線及び市道高見丘30号線(遠州豊田パークエンリア周辺土地区画整理区域)の通称・愛称を命名するネーミングライツ・パートナーを募集します。

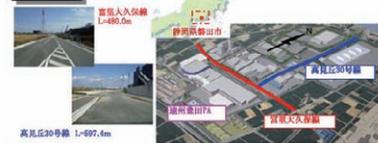
ネーミングライツ(命名権)とは

スポーツ施設や文化施設等の施設名称に、企業名や商品(ブランド)名等を冠する権利をネーミングライツ・パートナー(命名権者)に与えることで、契約料(協賛金)をいただくものです。

主なメリット

- PR効果が期待できます
 - ・通行者への告知、PR ・企業、商品の認知度向上
 - ・ブランドイメージの向上
- 地域活性化に貢献できます。
 - ・地域に貢献するという企業の明示 ・地域住民への好感度アップ
 - ・イベントや文化活動等、魅力ある道路づくりへの参加により、地域の産業振興、自治体施策への協力イメージの形成

募集対象路



募集の目的

市政への協力並びに地域への貢献活動の一環となる『官民協働施策推進型ネーミングライツ』と位置付け、市、地域住民、ネーミングライツ・パートナーが協働により地域の活性化を図ることを目的にネーミングライツ・パートナー企業を募集します。

申込者の条件

- ①自らネーミングライツ・パートナーになることを希望する法人、又はネーミングライツ・パートナーにはならないが、ネーミングライツ・パートナーを希望する法人と磐田市との仲介業務を行うことができる広告代理業を営む法人が対象です。
- ②日本国内に本社、本店、支社、支店、営業所のある者が申し込みができます。
- ③磐田市広告掲載要綱及び磐田市広告掲載基準の規定に違反する者は申し込みできません。
- ④その他ネーミングライツ・パートナーとして不適格であると市長が認める者は申し込みできません。

ネーミングライツの範囲

当該道路の通称・愛称として、企業名又は商品(ブランド)名等を命名することができます。ただし、公序良俗に反しないものとします。
なお、利用者の混乱等を避けるため、契約期間中の名称変更はできません。

募集金額及び契約期間

- 募集金額
 - ・磐田市道富里大久保線(遠州豊田パークエンリア周辺土地区画整理区域) 年間30万円以上を希望
 - ・磐田市道高見丘30号線(遠州豊田パークエンリア周辺土地区画整理区域) 年間32万円以上を希望
- ※募集金額には、消費税及び地方消費税を含みます。
- ※両対象路線とも申込をいただくことができます。
- 希望契約期間
 - ・磐田市道富里大久保線(遠州豊田パークエンリア周辺土地区画整理区域) 5年間以上を希望
 - ・磐田市道高見丘30号線(遠州豊田パークエンリア周辺土地区画整理区域) 5年間以上を希望

応募受付期間

平成21年2月2日(月)から平成21年2月27日(金)迄です。
(土、日曜日及び祝日を除く)
窓口における受付時間は、午前8時30分から午後5時15分までです。
※郵送等の場合は、平成21年2月27日(金)必着です。

申込方法

磐田市道ネーミングライツ・パートナー申込書等関係書類を特参又は郵送等により提出してください。(詳細は「募集要領」をご参照ください。)

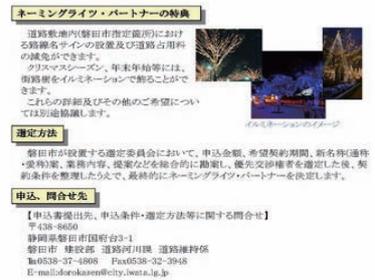
が散見されるようになり、本市においても、施設を適切に維持管理するための経費を捻出するために導入を決めた。

また、企業、地域（市民）、市（行政）が連携することによる『協働のまちづくり』をより一層、推進させることを事業のテーマとし、企業や地域からの提案による賑わいのあるまちづくりを期待した。

4 導入にあたり工夫・苦労した点、課題、対処法など

ネーミングライツの募集をしている自治体等において、昨今の経済状況等も相まって、応募が無い施設も多くある。そのため、企業にとって魅力のある施設の選定やメリット、募集中額の設定等に多くの検討時間を要した。募集のPRについても、市の広報紙やホームページだけでなく、新聞やテレビ、ラジオ等でも取り上げてもらえるよう報道各社への営業等も行った。

施設によっては、住民の公募により愛称が付けられているものや長年使用され慣れ親しまれている愛称等が住民の意識に浸透し定着しているものがあるため、施設の利用者である住民の方々の理解が得られるよう十分に周知を行い、必要に応じて意向調査を行うとともに、名称等の一部を残すといった条件を設けることも検討した。



5 現在の成果・実績、今後の展開など

平成 21 年 4 月 13 日に全国で初めて市道 2 路線についてのネーミングライツ・パートナーを決定した。それぞれ 5 年間で約 150 万円、約 210 万円の収入を得ることとなり、当該路線の維持管理費に充当する。

今後、これらの道を利用したイベント等をパートナー企業、地域、市が協働して取り組み、賑わいのあるまちづくりにつなげていく。

他の市道や施設についてもネーミングライツの導入の可能性を引き続き検討するとともに、『利用者である市民』、『ネーミングライツ・パートナーの企業』、『施設の管理者』、『設置者である市』が協働、共創という見地に立ち、施設について愛着を持って維持し続けるために知恵を出し合うことができる環境を創造する。

予算関連データ 磐田市

総額 ①～⑤の計		財源内訳(財源区分:①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
0千円		0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
①～④の名称・所管等	名称					/
	所管					
	金額					
	補助率					